



2020年2月7日

各位

会社名 エンカレッジ・テクノロジー株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 石井進也  
 (コード番号: 3682 東証第一部)  
 問合せ先 取締役経営管理部長 飯塚伸  
 (TEL. 03-5623-2622)

## 2020年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2019年5月10日に公表いたしました2020年3月期(2019年4月1日~2020年3月31日)の通期の連結業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 2020年3月期 通期連結業績予想の修正(2019年4月1日~2020年3月31日)

|                          | 売上高   | 営業利益  | 経常利益  | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|--------------------------|-------|-------|-------|-------------------------|----------------|
|                          | 百万円   | 百万円   | 百万円   | 百万円                     | 円銭             |
| 前回発表予想(A)                | 2,300 | 400   | 400   | 300                     | 43.67          |
| 今回修正予想(B)                | 1,930 | 160   | 160   | 100                     | 14.56          |
| 増減額(B-A)                 | △370  | △240  | △240  | △200                    |                |
| 増減率(%)                   | △16.1 | △60.0 | △60.0 | △66.7                   |                |
| (ご参考) 前期実績<br>(2019年3月期) | 2,268 | 564   | 565   | 407                     | 59.32          |

## 2. 修正の理由

パッケージソフトウェア事業でのライセンス売上について、第4四半期の見込案件の精査を行った結果、当社の主要顧客である金融業界においては、金融庁が主導する脅威ベースのペネトレーションテスト(TLPT)対策等の外部攻撃に対する強化策に予算が優先されたことや、人手不足などを背景にRPA導入など企業の省力化や競争力強化に向けた投資が優先されたことなどの外部要因と、営業人員の離脱等により期中に体制を再整備したことによる内部要因が加わり、代理店を経由した重要インフラ事業者への提案が想定どおりに進まなかったことや戦略的な営業活動が停滞したこと等により、案件の商談化に遅延が発生しております。また、これに付随するコンサルティング売上やSIO常駐サービス売上も遅延が発生しております。一方、積極的に実施しているマーケティング活動の成果にはまだ時間がかかることや、外部要因の動向から期中において戦略的に企画した働き方改革の推進を支援するツール「ESS REC NEAO」の販売や「ESS AdminGate」・「ESS FileGate」への新機能搭載を2月以降に予定しているものの、売上寄与が翌年度となること等から、売上高は前回発表予想数値に比べ16.1%減の1,930百万円となる見込みです。また、各利益に関しては、経費削減に努めるものの、パッケージソフトウェア事業における370百万円の売上見込みの減少により、いずれも前回発表予想数値を下回る見込みです。

## 3. 配当予想について

期末配当予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました1株当たり18円から変更はありません。

以上